

世田谷区立桜丘中学校

国語

光村図書「国語 3」	年間指導時数	105時間	学年	3	学級	A～F組
------------	--------	-------	----	---	----	------

1 学習の到達目標

学習の達成目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語活動を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書・副教材など	『国語 3』（光村図書）、『入試漢字ドリル』（正進社）、『役立つ文法』（正進社） 『国語 3 観点別評価テスト 積み上げ』（明治図書）、『模擬トレ 5 国語東京』（正進社）、『国語便覧』（浜島書店）

2 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	単元タイトル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					知識・技能 ○は重点	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度 粘り強い態度で、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
		世界はうつく しいと	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	1 詩を通読する。 2 詩を読み深める。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。

4	握手	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 	1 作品を通読する。 2 作品の設定を捉える。 3 登場人物の人物像を読み取る。 4 登場人物の心情を読み取る。 5 読み深めた感想を交流する。 6 学習を振り返る。	○時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 ・文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	評価しながら聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 	1 ペットに関する討論会の一部を聞き、メモを取る。 2 評価しながら聞く練習をする。 3 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。 ・立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理してメモを取り、根拠の適切さや自分の考えとの違い、取り入れたい表現などを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	季節のしおり 春	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の気象にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品中の「春」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。

5	<p>学びて時に之を習ふ</p> <p>—「論語」から</p>	<p>・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。</p> <p>・人間の生き方について孔子の考え方を自分たちと関連付けて考える。</p>	<p>1「論語」という作品について知る。</p> <p>2「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。</p> <p>3日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。</p> <p>4学習を振り返る。</p>	<p>・教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。</p> <p>○漢文法が理解できる。</p> <p>○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>	<p>・孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。</p>	<p>・人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。</p>
	<p>情報整理のレッスン</p> <p>情報の信頼性</p>	<p>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。</p>	<p>1 P32下段の問題について、グループで考える。</p> <p>2教材文を通読する。</p> <p>3学習を振り返る。</p>	<p>・情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。</p> <p>○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>		<p>・学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。</p>
	<p>漢字1 熟語の読み方</p> <p>漢字に親しもう1</p>	<p>・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。</p>	<p>1 教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。</p> <p>2 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。</p> <p>3 P40「漢字に親しもう1」の問題に取り組む。</p>	<p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>		<p>・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
	<p>作られた「物語」を超えて</p>	<p>・文章における具体と抽象の関係性を捉える。</p> <p>・論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。</p>	<p>1 全文を通読する。</p> <p>2 筆者の問題意識（話題）を捉える。</p> <p>3 筆者の主張と論理の展開を捉える。</p> <p>4 筆者の主張と論理の展開を評価する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。</p>	<p>・進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。</p>

思考のレッスン 具体化・抽象化	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	1 P50の教材文を通読する。 2 P51の教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。 3 学習を振り返る。	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける 資料 リオの伝説のスピーチ	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	1 話題を決めて、情報を集める。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの会を開く。 4 学習を振り返る。	・情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。 ・興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
漢字に親しもう 2	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉1 すいかは幾つ必要？	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。	1 文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。 2 文節・連文節の係り受けなど、既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。	○既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。

<p>実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 ・実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。 	<p>1 社会生活の中で触れたことのある実用的な文章を挙げる。</p> <p>2 「やってみよう」①に取り組む。</p> <p>3 「やってみよう」②に取り組む。</p> <p>4 「やってみよう」③に取り組む。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。 <p>○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。 ・読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。 ・観点ごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。 	<p>積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。</p>
<p>俳句の可能性 俳句を味わう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の特徴について理解を深める。 ・内容や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深める。 	<p>1 情景を想像しながら、それぞれの俳句を朗読する。</p> <p>2 本文を読み、俳句についてまとめる。</p> <p>3 P75「俳句を作って楽しもう」に取り組む。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>○俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。</p> <p>○俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。</p> <p>○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。 ・伝えたいことが効果的に伝わる構成（語順）を考えて、俳句を創作している。 ・自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。

言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして	・言葉の変化について理解し、相手に応じて、言葉を選ぶことができる。	1 言葉の変化について知る。 2 言葉の変化について話し合う。 3 相手や場面によって、言葉を選ぶ。	・古典や近代文学，年配の人との会話の例などの中から，自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し，試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。
言葉 1 和語・漢語・外来語	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，和語，漢語，外来語などを使い分けることを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	1 教材文の導入の例を基に，和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。 2 教材文を読み，和語・漢語・外来語・混種語について理解する。	○和語・漢語・外来語について理解し，相手や場面に応じて適切に使い分けている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・進んで和語・漢語・外来語を理解し，今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
読書を楽しむ	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	1 さまざまな読書の楽しみ方について知る。 2 「ブックトーク」，「読書会」，「読書生活をデザインする」の中から，夏休みに行う活動を選ぶ。 3 教材文に示されている各活動の内容に沿って，今後の見通しを立てる。 4 活動を行い，レポートか活動報告書を提出する。	・さまざまな読書の楽しみ方について理解し，読書活動を通して，読書の楽しさや意義を発見している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・進んで読書の意義と効用について理解し，見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。

「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	1 教科書本文を通読し、本のさまざまな探し方について知る。 2 学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味をもてそうな本を探す。 3 見つけた本を夏休みに読み、書評やポップを書く。 4 インターネットなどから自分が選んだ本の書評やポップを検索し、自分の書いたものと比べてみる。	・本のさまざまな探し方について理解し、興味をもてそうな本を見つけている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。	・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。
季節のしおり 夏	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	夏の気象にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・作品中の「夏」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。

【1学期の評価材料】

「知識・技能」

①積み重ねテスト（語彙・漢字・文法・表現技法・古文の基礎知識等） ②再テスト ③ワークシート 等

「思考・判断・表現」

①積み重ねテスト（読解・表現） ②スピーチ等の活動 ③授業観察 ④ワークシート ⑤ワークシート以外の提出物（作品その他）等

「主体的に学習に取り組む態度」

①ワークシート ②自己分析シート（振り返りシート） ③授業観察 等

9	挨拶 ——原爆の写真 によせて	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 ・詩に用いられている表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。 	1 作品を通読し、当時の時代背景について確認する。 2 「顔」という表現を捉える。 3 表現の効果を評価する。 4 自分の意見を述べる。 5 学習を振り返る。	○比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 ・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
	故郷	<ul style="list-style-type: none"> ・人の生き方や社会との関わり方を考える上での、読書の意義を理解する。 ・小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 	1 作品を通読し、作品の設定を捉える。 2 場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 3 作品を批評する。 4 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ・「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた適切な言葉遣いをする。 ・相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出す。 	1 対談の準備をする。 2 対談を行う。 3 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
	[推敲]論理の展開を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 	1 P116上段の文章を通読し、課題に取り組む。 2 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。

言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	1 導入の例のような、一まとまりで決まった意味をもつ言葉ができるだけたくさん書き出す。 2 教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 3 学習を振り返る。	・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	1 導入の文章を読み、新しい日本語が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 4 P122「漢字に親しもう3」の問題に取り組む。	・漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	1 文章の要旨を捉える。 2 文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げる。 3 自分の考えを文章にまとめる。 4 学習を振り返る。	○自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 ・自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。	・積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。

10

多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	・具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。 ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。	1 批評文について知り、題材を選ぶ。 2 観点を決めて分析する。 3 構成を考える。 4 推敲して仕上げる。	○具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 ・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。	・粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている
漢字に親しもう 4	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	○文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
[議論]話し合いを効果的に進める	・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	1 卒業文集のテーマ設定についての話し合いの例を聞き、論点を整理する。 2 テキストの□の欄に当てはまる発言を考える。 3 学習を振り返る。	・全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	・積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。

11	2	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	・複数の情報や発言を結び付けて考える。 ・立場や考え方の違いを認め、互いの考え方を生かしながら、合意形成に向けて話し合う。	・1 合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める。 2 グループで具体的な提案を考える。 3 全体会議を開く 4 学習を振り返る。	・複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
		音読を楽しもう 初恋	・言葉の響きやリズムを味わう。	1 言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。 2 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
		季節のしおり 秋	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・秋の気象にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・作品中の「秋」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
		和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。	1「和歌の世界」を読む。 2「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。	○「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

君待つと ——万葉・古 今・新古今	・詠まれた状況や歴史的 背景を理解し、和歌の世 界に親しむ。 ・作者の心情や描かれた 情景を読み取り、表現の 効果などについて考え る。	1 和歌を声に出して読む。 2 和歌の世界を味わう。 3 心に響いた和歌を一首選び、 鑑賞文を書く。	○三つの歌集の歌を比較したり朗読 したりして、それぞれの作者の心情 や情景を想像している。 ・気に入った言葉や表現の効果など に気づき、引用している。 ○この単元で出てくる語句を理解 し、活用できるようになる。	・心情や情景、和歌の表現方法 などについて自分の考えをもっ ている。	・進んで和歌の表現のしかたに ついて評価し、見通しをもって 鑑賞文を書こうとしている。
夏草 ——「おくのほ そ道」から	・歴史的背景などに注意 し、表現のしかたや文体 の特徴に着目して読み味 わう。 ・文章に表れている作者 のものの見方や感じ方に ついて考える。	1 作品を朗読する。 2 芭蕉のものの見方や感じ方を 読み取る。 3 心に響く俳句について発表す る。 4 学習を振り返る。 5 古典の言葉を引用し、メッ セージを贈る。 6 文章を友達と読み合い、学習 を振り返る。	・作者や作品について興味をもち、 俳句と地の文との関係に注意しなが ら朗読している。 ・古典の言葉を引用して鑑賞文や メッセージを書いている。 ○この単元で扱った古典文法が理解 できる。	・芭蕉の「旅」についての考え を読み取り、現代の「旅」がも つ意味と比較している。 ・芭蕉が見たものや感じたこと を想像している。 ・自分の思いを表現するのにふ さわしい文章の種類を選び、相 手の状況を踏まえて構成を工夫 してメッセージを書いている。	・人間、社会、自然などについ て進んで自分の意見をもち、今 までの学習を生かして発表した り文章にまとめたりしようとし ている。
古典名句・名言 集	・歴史的背景などに注意 して古典を読むことを通 して、その世界に親しむ ことができる。 ・長く親しまれている言 葉や古典の一節を引用す るなどして使うことがで きる。	1 「古典名句・名言集」を朗読 する。 2気に入った名句・名言を選 ぶ。	・作者や作品の時代背景を知り、古 典の名句・名言を朗読している。 ・気に入った名句や名言をノートに 書いたり、それについて自分の考え を書いたりしている。 ○この単元で出てくる語句を理解 し、活用できるようになる。		・長く親しまれている言葉や古 典の一節を進んで引用するなど し、今までの学習を生かして朗 読したり書き出したりしようと している。

誰かの代わりに	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 	1 筆者の考えを確認しながら全文を通読する。 2 筆者の考え方について話し合う。 3 自分の考えをまとめる。 4 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。 ○語句の文脈上の意味を理解している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な情報を基に、自分の考えをまとめる。 ・論理展開などについて推敲したり助言したりして、よりよい文章にする。 	1 グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。 2 構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合う。 3 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
漢字 3 漢字のまとめ 漢字に親しもう 5	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 	1 二年生までに学習した漢字を復習する。 2 三年生で学習した漢字を復習する。 3 P176「漢字に親しもう5」の問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉 2 「ない」の違いがわからない？	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。 	1 教材文を読み、「ない」の文法上の違いを理解する。 2 P215「文法2 文法のまとめ」にある文法の問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。

<p>本は世界への扉 エルサルバドル の少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内 本の 世界を広げよう</p>	<p>・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・二つのノンフィクションを比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり、文章にまとめたりする。</p>	<p>1 「エルサルバドルの少女 ヘスース」と「紛争地の看護師」を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。 2 P191「本の世界を広げよう」を読み、読んだ本や、興味をもった本について語り合う。</p>	<p>・二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。</p>	<p>・読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。</p>	<p>・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。</p>
<p>【2学期の評価材料】</p> <p>「知識・技能」 ①積み重ねテスト（語彙・漢字・文法・表現技法・古文の基礎知識等） ②再テスト ③ワークシート 等</p> <p>「思考・判断・表現」 ①積み重ねテスト（読解・表現） ②聞き取りテスト ③スピーチ等の活動 ④授業観察 ⑤ワークシート ⑥ワークシート以外の提出物（作品その他）等</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 ①ワークシート ②自己分析シート（振り返りシート） ③授業観察 等</p>					

3		季節のしおり 冬	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる	・冬の気象にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ俳句や詩、名文を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・作品中の「冬」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	1	温かいスープ	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 3 国際性について自分の考えをもつ。	・文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、これまでの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
		わたしを束ねないで	・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる ・詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	・言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	・詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、これまでの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	2	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	・三年間の学びを振り返り、テーマを決める。 ・場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。	1 三年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決める。 2 冊子の構成を考える。 3 冊子を作る。 4 発表会を開く。 5 学習を振り返る。	・目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。 ・相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。 ・自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。	・粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、これまでの学習を生かして、文章にまとめた、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。

－	漢字に親しもう 6	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	これまでの学習を生かして、練習問題に取り組む。	○音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	学習を振り返ろう	・三年間の国語の学習の中で学んできたことを整理し、定着度を確かめる。	1 P225の小説を読み、学習課題に取り組む。 2 P228の説明文を読み、学習課題に取り組む。 3 P229のスピーチ原稿を読み、学習課題に取り組む。 4 P230の図表を用いて、学習課題に取り組む。	・相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 ・目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。 ・昔の時間の表し方や地名などを調べ、現代と比較したり、現代に受け継がれたりしていることを理解している。 ・アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。 ○この単元で出てくる語句を理解し、活用できるようになる。	・文章に表れているものの見方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 ・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。 ・自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。 ・本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。	・粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
【3学期の評価材料】						
「知識・技能」 ①積み重ねテスト（語彙・漢字・文法・表現技法・古文の基礎知識等） ②再テスト ③ワークシート 等						
「思考・判断・表現」 ①積み重ねテスト（読解・表現） ②スピーチ等の活動 ③授業観察 ④ワークシート ⑤ワークシート以外の提出物（作品その他）等						
「主体的に学習に取り組む態度」 ①ワークシート ②自己分析シート（振り返りシート） ③授業観察 等						